

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月17日			
(宛先) 川口市長 殿			
提出者 住所 埼玉県川口市西新井宿180番地 氏名 川口市立医療センター 川口市病院事業管理者 國本 聡 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 048-287-2525			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	川口市立医療センター		
事業場の所在地	埼玉県川口市西新井宿180番地		
事業の種類	P83 医療業		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	472.4t	全処理委託量	472.4t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	1.0t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	73.4t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	398t
※事務処理欄			



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 感染性廃棄物)

不要物等発生量		有償物量	
排出量		自ら直接再生利用した量	
①	495 t	②	0 t
排出量		自ら直接埋立処分した量	
③	0 t	③	0 t
実績値		自ら中間処理した量	
① 排出量	495 t	④	0 t
②+③自ら再生利用を行った量	0 t	自ら中間処理した後の残量	
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	⑥	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	自ら中間処理した後の減量した量	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	④のうち熱回収を行った量	⑤
⑩全処理委託量	495 t	⑦	0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	75 t	⑩	495 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	420 t	⑪	0 t

※東京都による「優良性基準適合認定制度」の認定を受けた業者に全量を委託。(処理業者にて熱回収及び再生利用処理を実施、熱回収約85%、その他再生利用約15%)

自ら中間処理した後の再生利用した量		⑧	
0 t		0 t	
自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量		⑨	
0 t		0 t	
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		⑩	
495 t		495 t	
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		⑪	
0 t		0 t	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量		⑫	
75 t		75 t	
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑬	
0 t		0 t	
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭	
420 t		420 t	

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 引火性廃油)

不要物発生量		有償物量	
排出量		排出量	
①	1.5 t	①	1.5 t
項目	実績値	項目	実績値
①排出量	1.5 t	② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
② 自ら熱回収を行った量	0 t	⑤ 自ら中間処理を行った量	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t	③ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩ 全処理委託量	1.5 t	④ 自ら中間処理した量	0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t	⑥ 自ら中間処理した後の残量	0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0 t	⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t	④のうち熱回収を行った量	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	⑤ 0 t	

自ら直接再生利用した量	② 0 t	自ら中間処理した後の再生利用した量	⑧ 0 t
自ら直接埋立処分した量	③ 0 t	自ら中間処理した後の埋入処分した量	⑨ 0 t
④のうち熱回収を行った量	⑤ 0 t	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 0 t
④のうち熱回収を行った量	⑤ 0 t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0 t
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 1.5 t	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。